

肝 臓(上腹部の正常解剖を含めて)

板井 悠二*

CT の読影にあたり重要なことは、正常解剖、肉眼病理およびその CT パターンに加え、常に機器の性能限界を知るのに努めることである。肝臓はこれらが端的に出現する点でも、臨床的比重から、全身 CT で重要な位置を占めている。その検査法の限界を知りつつ最大限に性能をひき出すことが、検査、読影を行う者に要求されるのは当然であろう。

以下、正常解剖、機器のアーティファクト、検査法、代表的病変につき読影上の注意点を述べてみる。

* Yuji ITAI 東京大学医学部・放射線科講師